

10月3日(土)13:30~15:30 定例学習会議事録

会場／大友氏遺跡跡：南蛮 BVNGO 交流館研修棟

開始前に新入会員の紹介

松下哲夫(上)、板井優作(下・板井優作法律事務所・足立義弘
会員紹介)、その他の参加／足立義弘、稲葉茂雄、植木直正、
江藤孝文、大塚雄一郎、工藤大輝、廣岡鎮也、平岩禎一郎、藤
田賢治、牧達夫、藪紘一、若杉孝宏。計 15 名



① 宮城県名取市大友氏訪問報告（若杉）

●9月29・30日牧・若杉・足立の3名で名取市の大友直樹会員(東
京在住)と大友家本家の大友徳雄様訪問、その報告(3・4 頁)。

当日は空路福岡から仙台へ。空港で名取市の大友本家徳雄・敏信
ご兄弟と大友直樹会員の出迎えを受けた。御舎弟敏信様のミニバ
ンで徳雄様のご自宅へ。概要は後述。こうした活動は世間に PR しな
ければ意味がないとの思いから直樹会員の手配で河北新報社の取
材が実現した。掲載日は未定だが掲載紙を送ってもらうよう依頼し
ている。次の例会で配布予定(コピー配布は禁止)。また、翌日別れ
際に徳雄様より 10 万円のご寄付をいただいたので2名を顕彰会と
推進協議会の特別会員に登録、会費として繰り入れたい旨報告した。



●福岡県知事とNHK へ大河ドラマ要望の件で共同歩調の結果を報告（牧）

9 月 4 日に服部福岡県知事を訪問、予定に記載した通り(2 頁下)。今後は両県知事に
柳川市長と共同歩調の予定だが、日程の調整が一番難しい。しかし来年3月までに何と
か調整して NHK 訪問を実現させると、固い決意を述べた。その他、緊急報告

10月10日(土)13:30~能楽堂の開館10周年記念イベントの一環として基調講演「国
際貿易都市『府内』を築いた宗麟」講師／本郷和人氏」。シンポジウム “西洋で
Rey(王)と呼ばれた男宗麟” 本郷和人氏・鹿毛敏夫氏ほか。

●10月14日 14:00~、別府市中央公民館で湯けむり歴史講座「豊臣兄弟と別府」
が開催される。

いずれも主催者からの告知はなく、つい先日、牧会長の個人的情報網で知る。

※7 日電話にて意見具申／10 日開催の主催の県立埋蔵文化財センターに「このよう
なイベントは事前に我われのような大友氏関連団体に告知してほしい」と申し入れた。担
当者は恐縮の姿勢が見えた。

●次の報告は失念したが備忘録として残す。2030年上杉謙信生誕500年につき、新
発田市の斎藤さんより上越市との連携の可能性の打診あり。斎藤氏の息子さんがクリス
チャン、大分県全体の統括本部で大分市に赴任、その縁で連絡があった。共同事業は
ムリにしてもエール(イベント情報)交換なら可能。

●さらに 11 月の大友氏顕彰フォーラムのチラシ配布、と『大友氏の風景(14)』はとりあえず 50 冊を納品、参加者に紹介した。今回から5冊(@千円)販売につき1冊進呈、寄稿者には1冊進呈する旨発表した。

5冊購入者／平岩・稲葉氏(8千円)、1冊・藪氏(千円)。広告証明用・牧／15冊、後日牧64冊。藤田／120冊(佐藤用含む)。残りは若杉／寄稿者全員と推進協議会行政メンバー分。

② 大友氏の風景アーカイブ 第5弾(若杉)

『大友氏の風景(二)』より「佐賀関合戦の中川秀成」の動きを検証・再考する

先月取り上げた、「豊臣兄弟」中の中川清秀の描き方の問題(その二)

会報76号に取り上げ、今日配布、それをもとに概説した。中川清秀は元来そういった性格らしいが、性格描写のシーンが間違っていた。NHK には清秀の性格描写の資料があって、それを基にした判断だったのではないかと、若杉の推測。

③ ベストセラー『80歳の壁』より「汚れた腸が病氣をつくる」(安部)

当顕彰会の会員の平均年齢が団塊世代の皆さん。この年齢になると “五体満足” の会員は、ま、少ない。毎回歴史の話ばかりでこの日は日ごろ気になっている病気の原因やその処置法など、日ごろ聞けない話しで貴重な時間となった。

④ 宮崎研修バス旅行・「日向高城川合戦」戦没者慰霊祭参列 あと3名。

福岡県との連携によるNHK大河ドラマ誘致活動について

概要

県では、NHK大河ドラマ「大友宗麟」誘致推進協議会や関係市とともに、大河ドラマの誘致活動に取り組んでいる。

この度、福岡県で活動する「たちばな もとよしげ ざんちよ立花宗茂と闇千代」NHK大河ドラマ招致委員会(福岡県、柳川市等により構成)顧問の服部福岡県知事を訪問し、両県にゆかりのある大河ドラマの誘致について、意見交換を実施した。

今後は、両県知事をはじめ自治体・民間団体等が力を合わせ、NHKへの共同要望など、誘致活動を加速していく。

日 時： 令和8年9月4日(金)

場 所： 福岡県庁 知事応接室

訪問者： 佐藤 大分県知事
牧 「大友宗麟」誘致推進協議会会長

対応者： 服部 福岡県知事



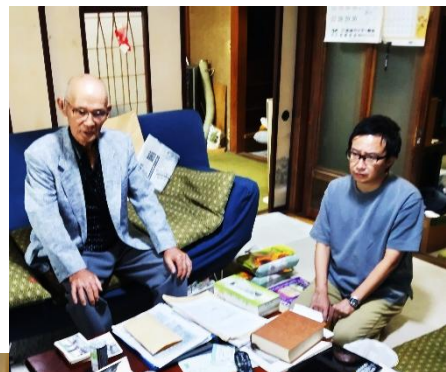
(左から) 服部知事、牧会長、佐藤知事

宮城県名取市の大友本家訪問報告

9月 29・30 日(火・水)、名取市の大友徳雄様を訪問しました。ここには江戸時代からの古文書があり、特に明治4年の肝煎り役の検地帳がほぼ完全な形で現存しているのが貴重です。この年に従来の肝煎り・庄屋制度を廃止した最後の記録だから。したがって江戸時代の農村風景、農村生活をリアルタイムに伝えているといえます。

この模様は河北新報社の取材を受け、近々掲載されます。その掲載紙を10～20部送ってもらうよう依頼しました。大分合同新聞の例で分かるようにコピー配布は厳禁、希望者を募ります。東北に流されて来た大友義統一行は石垣原合戦後、常陸に流されたのは2回目、その後秋田氏に預けられた直後、佐竹氏と秋田氏の領地交換により再び常陸に戻ります。その中間点にあるのが名取です。推測ですが、この地に暫く逗留しここで子をもうけ、その子孫が名取や岩沼に多くいる大友姓たちである、ということです。この近辺だけで14000人、関東以北に3万人以上いるようですが、全員が血族の子孫だとは考えられず、その疑問に本家の大友徳雄さんは「明治初頭の国民全員が苗字を付けるようになった際、希望者に大友姓をあげたと聞いています」と応えてくれました。

それを聞いて我々はすごく納得した次第です。400年くらいで一人の祖の子孫が3万人以上というのは考えられないとの疑問を持っていたからです。いずれにしても所縁あることには間違いありません。河北新報社の取材には我々の活動の現状を伝えました。大河ドラマのストーリーは「大友宗麟・義統→立花宗茂→政宗までを考えており、九州から東北までを大河ドラマの舞台にしたい」と強く伝えました。「実現すれば従来にはない壮大な大河ドラマになりそうですね」との感想に意を強くしました。



上左が大友徳雄様、右が大友直樹会員。
左写真は河北新報社に取材を受ける左から
足立、若杉、大友徳雄様、牧。

河北新報社の取材後、大友家の菩提寺「高照寺」を訪ねた。この寺は現在現在無住寺で大友徳雄様が管理している。この墓地にある100基以上の家名を見ると大友家の他菊池家が多い。気が付いたことは大友家の家紋が違う。推測としては、この地にたどり着いた大友義統は、地元民からの世話を受け、その中で地元女性に子を産ませた。自分の身分を知らせたが家紋などのことまで気が回らなかった。さらに子供が生まれる前にこの地を去ったか、亡くなった。ということではないだろうか。それで現在残った系図はのちの子孫が調べ記述。従って 10 代親世、12 代持直、13 代親綱、14 代親隆、16・17 代政親・義右親子が抜けたのだろう。親世以外何れも内紛の当主たちである。この後民俗資料館に行ったが館長は菊池さんだった。由来を聞くと「先祖は肥後からきた」と知っていた。大友氏以外に臼杵氏も岩手県にいらしい。そもそも大友氏初代能直の初陣は奥州合戦で、東北に所領もあった。九州とのつながりは意外に深い。



2日目は仙台城(青葉城)。大友直樹さんがガイドを手配してくださり須藤さんという。ベテランガイドらしく楽しいガイドをしてくれた。ここも大河ドラマ誘致活動しているというので「政宗は 2 回目ですから我われ大友の流れで伊達政宗までを考えているので協調しませんか」と伝えると「ええ？そうなんですか」と驚いていた。次は荒城の月の作詞者土井晩翠記念館「晩翠草堂」を訪ねた。ここも縁があるのは大分の人間なら周知のこと。



左から大友敏信、大友直樹、足立義弘、大友徳雄、牧達夫、若杉孝宏
敬称略